

1 学年 職業人講話

10月6日(木)1学年生徒を対象に、青森県で活躍する方々から仕事に関する話をさせていただきました。生徒は二つの講話を聞き、それぞれの職業について学びました。青森県の良さを認識し、社会に貢献することの意義を考える良い機会になりました。

番号	職業	業種・職種	講師名(敬称略)
1	会社役員	ATOM Works株式会社(スチール・鉄鋼製品の設計・製作) 代表取締役社長	岡山康広
2	研究者	青森県産業技術センター野菜研究所 研究管理監	新藤 潤一
3	観光まちづくり	株式会社バリューシフト	木村 優哉
4	国家公務員	青森地方検察庁 検察庁検事 検察広報官	小池 忠太 佐藤 正恭
5	看護師	十和田市立中央病院 主任看護師	中沢 智美
6	地方公務員	上北地域県民局県税部課税課 主事 人事委員会事務局総務・任用グループ 主事	服部 桃愛 池田 拓弥
7	警察官	青森県警察本部警務課人事・採用係 警部補 十和田警察署警務課 主査	田中 美寿 野口 淑子

生徒の感想

- ・自分が抱いている青森のイメージより良いイメージがたくさんあって、青森の魅力を見つけることができた。
- ・人との縁を大切にしたいと感じたため、人とのより良いコミュニケーション能力を身につけたい。青森県にはまちづくりのために働いている会社がいくつかあり、その会社の企画に参加することで、青森の活性化をしたい。
- ・地方公務員と国家公務員、公務員と民間企業の違いを知ることが出来ました。相手の立場に立って想像し、相手の話を聞くことはどの仕事に就いても大事だと分かりました。想像力をつけるためには読書がおすすめだと言っていたので時間がある時に本を読んでみようと思いました。
- ・日常でも活かせることがたくさんあった。看護師の方のお話で「時間を具体的に伝える」だったり「責任感よりルールを遵守する」ことを意識したいと思った。自分の進路選択で迷っていたけれど今日のお話を聞いて新しい考えも浮かんだ。
- ・どの職業でも人の気持ちを考えたり、人の話をしっかりと聞くことが大事だと分かった。なりたい職業がまだ具体的に決まっていなくても、将来につながると思うので、今から気をつけたい。
- ・青森県に対する勝手な偏見や固定概念があったことが衝撃でした。自分の住んでいる地域、自分の人生についてもっと考えようと思えました。
- ・国家公務員の方では検察官という職業の幅広さや面白さに気づくことが出来ました。また、研究職は国家公務員とは違って地域と深く関わりながら仕事をしていくというところに職業の違いを見つけることが出来ました。
- ・今回の講演で看護師の仕事は自分が思っていたより仕事の幅が広いことを初めて知りました。また、文理選択の生物と化学の選択についても詳しく聞くことができたので進路選択に活かしたいです。今後は看護師の方がおっしゃっていたように時間を意識した行動をしたり、自分のスイッチのオンオフをはっきりさせることなどを意識して生活していきたいです。

第2回進路希望調査 (9月実施)

